

様式 2

<div>番号</div> <div>観点</div>	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	地図 431	新編 新しい地図帳
<div>取扱内容</div> <div>〔 各教科 学習指導要領の総則及び各学年の目標、内容等 〕</div>	<p>地域社会に関する内容</p> <p>都道府県の形や文字、位置に着目したクイズや自分が住んでいる都道府県の位置の確認など、都道府県の位置と名称を学習する活動を通して、地図や具体的資料を活用して調べる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>我が国の領土や産業に関する内容</p> <p>地球儀を回転させながら世界の地図とともに主な大陸と海洋の位置や日本の都市と外国の都市の距離を確かめる活動を通して、地図帳や地球儀、統計等の基礎的資料を活用して調べる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>我が国の歴史と政治及び国際理解に関する内容</p> <p>我が国において世界文化遺産や世界自然遺産に登録された場所を探す活動を通して、歴史に関する社会的事象について地図や資料を活用して調べる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応</p> <p>地図上のある地点から見た方向を考えたり、距離について様々な縮尺で測ったりするなど、地図の表記のきまりについての基礎的な知識・技能を習得させる活動や、日本の地形や気候などとの関係から自然災害の起きる要因や防災対策について考えたり、北海道の農産物の生産量について考えたりするなど、習得した知識・技能の活用を図る学習活動が取り上げられている。</p>			
<div>内容の構成・排列、分量等</div>	<p>内容の構成・排列</p> <p>巻頭の「ながめてみよう日本のすがた」、「日本の 47 都道府県」により日本列島を概観した後に「地図帳の使い方」、都道府県の地方図、都市部の拡大図、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を排列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>内容の分量</p> <p>「地図帳の使い方」が 4 ページ、「日本の全図」が 14 ページ、「日本の地方図」が 32 ページ、「世界の地図」が 15 ページ、「資料・統計」が 29 ページであり、総ページ数は 94 ページとなっており、前回より 21 パーセント増となっている。（A B 判から A4 判に変更）</p>			
<div>使用上の配慮等</div>	<p>写真や模式図、イラスト等の多様な表現を用いたり、アイヌの人たちのことばに由来した地名を調べたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>「キャラクターのセリフ」によって地図の活用の着目点を示したり、「資料・統計」では関連して調べるページを示して作業を指示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>都道府県や世界の国々の名称と位置関係が分かる 3 ページ大の地図や索引の活用の仕方を具体例を基に示したり、地図中の文字や記号を大きく示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
<div>その他</div>	<p>北海道と関連ある内容は、「日本の自然～最低気温（旭川市）（P 63）」など、16 箇所取り上げられている。</p> <p>領土と関連ある内容は、「日本とそのまわり（P 13）」など、12 箇所取り上げられている。</p>			